

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	大島町	直接	大島町	－	－	元町地区町道等整備（町 道、広場等）	道路等整備（総延長1.720m ）、広場等整備（面積350㎡ ）	大島町	■	■	■	■		410		－
											小計						410		
											合計						410		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大島町議会で構成される「住民・福祉・環境常任委員会」で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、評価を実施した。	令和6年6月
	公表の方法
	大島町の公式ホームページにて掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・第2期計画では、第1期計画とあわせ約2,600mの全区間の整備が完了したことにより、災害時における住民の避難路確保及び緊急車両等の通行確保が可能となった。 ・一時避難場所等の機能を有した広場2カ所の整備が完了したことにより、地区の防災機能確保が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・新設道路の歩行者空間も整備されたことにより、土砂災害対策の学習や、災害の教訓を伝える場としてのイベント等が行われている。

○特記事項（今後の方針等）

・道路、一時避難場所、緑地等の地区公共施設整備が完了したことにより、避難場所への避難路利用及び被災地一帯を土砂災害対策の学習と災害の教訓を伝える場として活用していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	避難場所（大島町役場及び都立大島高等学校）へ誘導するための町道（細街路・交差点改良）等の整備		
	最 終 目標値	4分	
	最 終 実績値	4分	
2	一時避難場所及び防災機能を有した広場等の整備		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	